

授業科目名	新 生 児 学 <i>Neonatology</i>					担当教員					
開講年次	1年前期	セメスター	1		時間数(単位数)	30(2)					
必修選択	専攻領域必修	授業形態	講義・演習		使用教室						
授業の目的	<p>新生児の分類とその評価を行う知識を深めるとともに、子宮内環境から子宮外環境への臓器別の生理的適応変化とそれをもとにしたフィジカルアセスメントを習得する。また、出生時の適応障害、在胎週数別に見た合併症とその症状を理解し、新生児の治療方法として、基本的治療(ケアや栄養管理)、薬物治療(薬剤投与の実際など)、特殊な治療(人工換気、交換輸血、脳低温療法など)について最近の知見も含めて学び、ケアの提供ができるようになる。</p>										
到達目標	<p>1. 新生児の病態生理と疾病の特徴を理解する。 2. 新生児に特有のケアが提供できるようにする。 3. 新生児蘇生の基本的手技を習得する</p>										
DPとの関連	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6 (保健)	DP6 (CNS)	DP7 (CNS)	DP6 (助産)	DP7 (助産)	DP8 (助産)
授業計画	<p>1回 新生児学総論(山口赤十字病院) 発育と発達とその評価 2回 新生児診断学(山口赤十字病院) 新生児の養護と管理 3回 体温調整と保温(山口赤十字病院) 呼吸器系の基礎と臨床 4回 循環器系の基礎と臨床(山口赤十字病院) 水・電解質バランスの基礎と臨床、内分泌・代謝系の基礎と臨床 5回 栄養・消化器系の基礎と臨床(山口赤十字病院) 黄疸の病態と臨床 血液系の基礎と臨床 6回 中枢神経系の基礎と臨床(山口赤十字病院) 先天異常と遺伝 主要疾患の病態と管理 7回 新生児看護の原則(山口赤十字病院) 呼吸器系・循環器系の臨床看護 8回 内分泌・代謝系の臨床看護(山口赤十字病院) 栄養・消化器系の臨床看護 9回 母子関係と家族の支援(山口赤十字病院) 新生児医療とあたたかい心 10回 災害と新生児医療(山口赤十字病院) 医療事故と医原性疾患、新生児医療における生命倫理 11回 正常な経過をたどる新生児のアセスメントとケア(石山) 12回 正常から逸脱した新生児(低出生体重児、新生児黄疸)のアセスメントとケア(石山) 13～15回 新生児蘇生法(永松) ★新生児蘇生の手技を習熟する(学内での周産期新生児医学会の新生児蘇生講習会の受講) 蘇生のアルゴリズムの理解、蘇生バック使用の習熟が目標</p>										
学習方法	講義と演習										
オフィスアワー	<p>1～10回はNICUの小児科医師または看護師・助産師による講義のため施設を訪問した際に 対応する。 各指導教員のメールアドレスを確認し、事前にアポイントメントを取ってください。 永松：m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp 石山：s-ishiyama@jrckicn.ac.jp</p>										
テキスト	<p>仁志田博司：新生児学入門(第5版)。東京、医学書院、2018。 細野茂春：新生児蘇生法テキスト(改訂第3版)。東京、メジカルビュー、2016。</p>										
参考文献	授業中に紹介										
評価方法	授業参加度(20%)、筆記試験(80%)で評価する。										